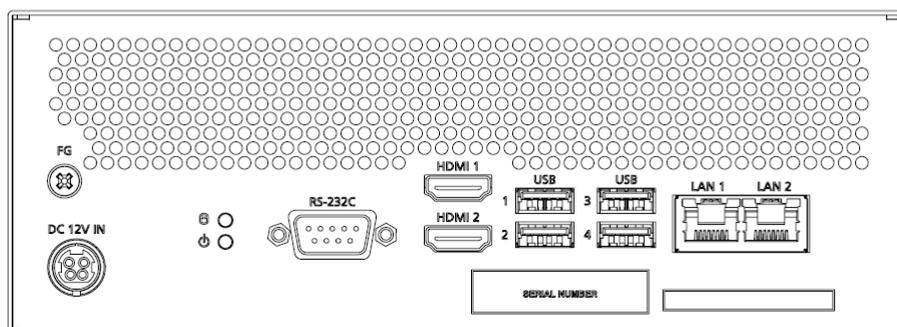
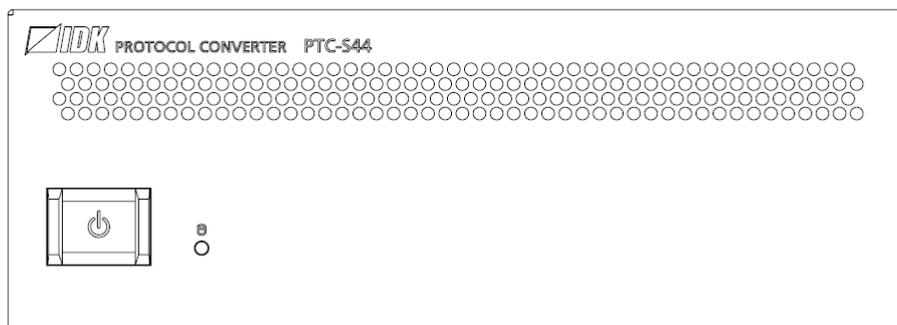


プロトコルコンバータ

PTC-S44

<ユーザーズガイド>

取扱説明書 Ver.1.1.0



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご利用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft, Windows, Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft® .NET は、お客様、情報、システムおよびデバイスを繋ぐソフトウェアです。
- 本書中の弊社で提供するソフトウェアは、Microsoft .NET Framework に基づくアプリケーションです。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される画面構成、メニューおよび画面表示などが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.idk.co.jp/>

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

安全上のご注意

本書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- ・ この「安全上のご注意」は、弊社製品全般についての内容です。そのため、お客様がお持ちの製品には該当しない内容が含まれる場合があります。
- ・ 内容によっては、取扱説明書内で詳細に説明しているものもあります。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な注意内容を示します。	 高温面注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な禁止内容を示します。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な指示内容を示します。	 プラグを抜く

警告

重い製品を持ち上げるときは

 指示	<p>●持ち上げるときは2人以上で作業する</p> <p>製品を持ち上げる時、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に下ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。</p> <p>1人での持ち上げは負傷を招く原因になります。</p>
---	---

設置・接続するときは

 禁止	<p>●不安定な場所に置かない</p> <p>水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。</p> <p>●振動のある場所に設置するときは固定する</p> <p>振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。</p>
---	--



警告

 <p>指示</p>	<p>●据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く 機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。 本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p> <p>●必ずアースに接続する アース接続せずに使用すると、感電の原因になります。</p> <p>●PoE・PoH 給電を使用するときは、IEEE802.3af/at 規格に適合したツイストペアケーブルを使用する 規格に適合したケーブルで接続しないと、火災・故障の原因になります。</p>
---	--

お使いのときは

 <p>禁止</p>	<p>●異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●電源コード・AC アダプターは傷つけない</p> <p>●PoE・PoH 給電を使用するときは、ツイストペアケーブルを傷つけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加工したり、過熱したりしない ・ 引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・ 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・AC アダプターが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>●修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>●雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない 感電の原因になります。</p>
 <p>指示</p>	<p>●電源プラグのほこりやゴミは拭き取る 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>

もしものときは

 <p>プラグを抜く</p>	<p>●煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因になります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
---	---

注意

設置・接続するときは

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。 ● ほこり・油煙・湿気が多い場所に置かない ほこりの多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。 ● 通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。 ● 本体の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。 ● コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。 ● 海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。 ● ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。 また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。 ● ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にしないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。

お使いのときは

 高温面注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 高温面に触れない 十分な空間を確保せず設置すると、他の機器の動作不良の原因になります。 高温面に触れるとやけどの原因になります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 付属の電源コード・AC アダプター以外のものは使用しない ● 付属の電源コード・AC アダプターは本製品専用のため、他の製品には使用しない 不適合により、火災・感電の原因になります。
 プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ● 長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。 ● お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜く 感電の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ● 放熱を妨げない 冷却用のファンを使って内部の熱を放出しています。 ファンが停止した場合は、電源を切り、弊社営業部までお問い合わせください。 ファンが停止した状態で使用を続けると、内部の温度が上昇し、故障・火災・感電の原因になります。 ● 定期的に清掃する 通風孔や冷却用のファン付近にほこりが付着すると、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。 また、長年のご使用で内部にほこりがたまると、火災・感電や故障の原因となることがありますので、定期的に内部の清掃を行うことをお勧めします。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃につきましては、弊社営業部までお問い合わせください。

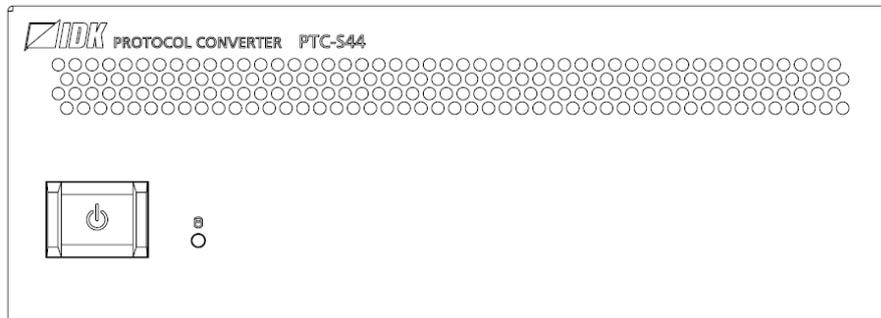
目次

1	同梱物の確認.....	8
2	製品概要.....	9
3	特長.....	9
4	各部の名称とはたらき.....	10
5	システム構成例.....	12
6	お使いになる前に.....	13
6.1	設置について.....	13
6.2	接続について.....	13
6.2.1	ロック付き DIN プラグ AC アダプタの取り扱い.....	14
7	インストール / アンインストール.....	16
7.1	インストール.....	16
7.2	アンインストール.....	18
8	起動方法.....	19
9	基本操作.....	19
9.1	ログイン.....	19
9.2	メイン画面.....	20
9.3	メニューバー.....	21
9.3.1	設定：読込.....	21
9.3.2	設定：保存.....	21
9.3.3	ログアウト.....	22
9.3.4	終了.....	22
9.3.5	バージョン情報.....	23
9.4	入力設定.....	24
9.5	出力設定.....	26
9.6	変換設定.....	28
9.7	ネットワーク設定.....	30
9.8	メンテナンス.....	32
9.9	ログ.....	34
9.10	設定例.....	35
10	製品仕様.....	37
11	正常に動作しないときは.....	38

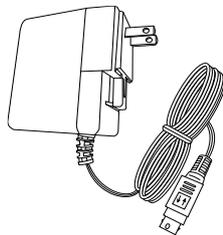
1 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

万一、同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。



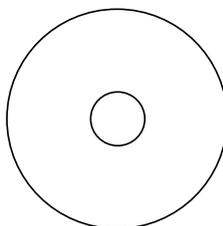
PTC-S44 本体 … 1 台



ロック付き DIN プラグ
AC アダプタ (1.2 m) … 1 個



取扱説明書 (本書) … 1 冊



CD-ROM… 1 枚

[図 1.1] 同梱物の一覧

2 製品概要

PTC-S44 (以下、「本機」とする) は、ネットワークカメラや IP エンコーダから配信された MPEG-2 / H.264 で圧縮された映像信号を、国土交通省仕様の MPEG-2 / H.264 に変換するためのプロトコルコンバータです。最大 4 入力 4 出力で、最大 1920x1080 の解像度に対応しています。

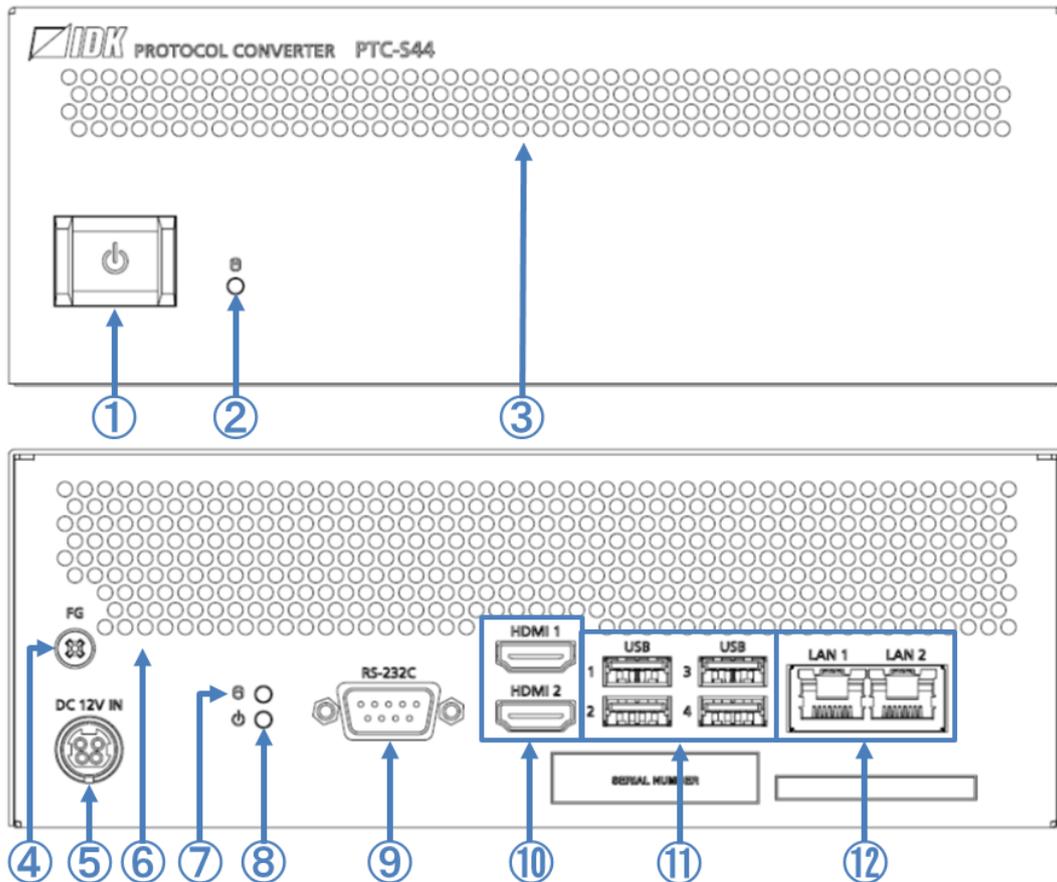
また PTZ にも対応しており、カメラ管理システムなどから送信された建電協コマンドを、ネットワークカメラメーカー各社の制御コマンドに変換することもできます。

3 特長

本機の特長は次のとおりです。

- ・ 汎用ネットワークカメラ・IP エンコーダを使用可能
- ・ 国土交通省仕様コーデック対応 (MPEG-2 / H.264)
- ・ 対応解像度：最大 1920x1080
- ・ 建電協コマンド対応
- ・ 最大 4 入力 4 出力 (MPEG-2 受信時制限有)
- ・ ユニキャスト⇄マルチキャスト変換が可能

4 各部の名称とはたらき



[図 4.1] PTC-S44 の外観図

[表 4.1] PTC-S44 の各名称と説明

[1/2]

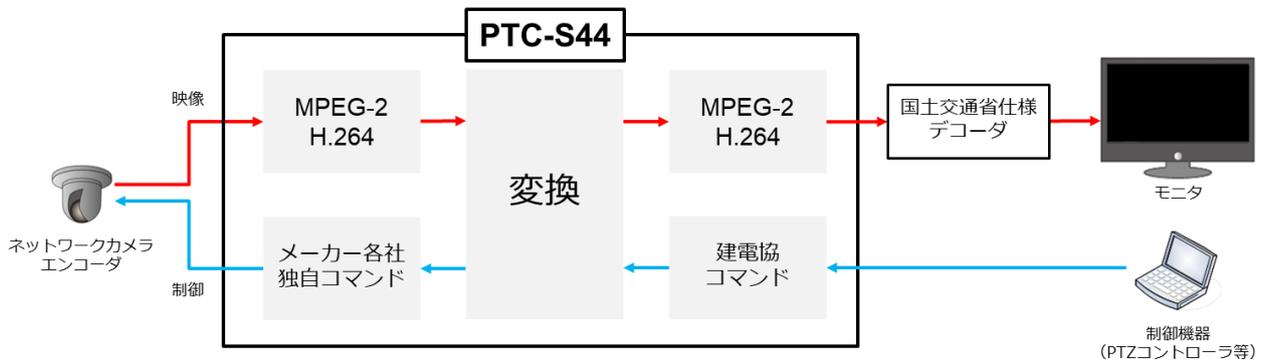
番号	名称	説明
①	電源ボタン	本機の電源を ON または OFF に切り換えます。 緑点灯： 電源オンの状態 消灯： 電源オフの状態
②	アクセスランプ	ディスクアクセスの状態を確認できます。 緑点灯： アクセス中 消灯： アクセス無し
③	通風孔	本体内部の温度上昇を抑えるための通風孔です。
④	フレームグランド	M3 ねじを使用しています。屋内のアース端子と接続します。
⑤	電源コネクタ	付属の AC アダプタを接続します。
⑥	通風孔	本体内部の温度上昇を抑えるための通風孔です。
⑦	アクセスランプ	ディスクアクセスの状態を確認できます。 赤点灯： アクセス中 消灯： アクセス無し
⑧	電源ランプ	ディスクアクセスの状態を確認できます。 緑点灯： 電源オンの状態 消灯： 電源オフの状態

[2/2]

番号	名称	説明
⑨	RS-232C コネクタ	メンテナンス用です。 このコネクタには何も接続しないでください。
⑩	HDMI コネクタ	メンテナンス用です。 このコネクタには何も接続しないでください。
⑪	USB3.0 コネクタ	メンテナンス用です。 このコネクタには何も接続しないでください。
⑫	LAN コネクタ	LAN 信号の接続コネクタです。

5 システム構成例

次の図は、本機のシステム構成例です。



[図 5.1] システム構成例

6 お使いになる前に

本機をお使いになる前に、本章の内容をお読みください。

6.1 設置について

本機を設置するときは、次の事項をお守りください。

- ・ 本機を積み重ねて使用しないでください。
- ・ 通風孔、冷却ファンをふさがないでください。
周囲 30 mm 以上の空間を確保してください。
- ・ 本機を囲われた空間に設置しないでください。
EIA ラックマウントへの設置で、弊社製マウント金具 (型番 : RM-SF、RM-SH) への取り付けを除き、囲われた空間に設置が必要な場合は、本機の周辺温度が 40 °C 以下になるよう別途換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、部品の寿命や、本機の動作などに影響を及ぼすおそれがあります。

6.2 接続について

本機を外部機器と接続するときは、次の事項をお守りください。

- ・ 外部機器の取扱説明書をよくお読みください。
- ・ ケーブルを本機または外部機器と接続するときは、ケーブルを持つ前に接地された周辺の金属に触れて、身体の帯電を除去した状態で作業をしてください。
- ・ 各機器の電源を切った状態で接続をしてください。
- ・ ケーブルはコネクタにしっかりと差し込み、接続してください。また、コネクタにストレスの与えない配線をしてください。

6.2.1 ロック付き DIN プラグ AC アダプタの取り扱い

ロック付き DIN プラグ AC アダプタの取り扱いについて説明します。

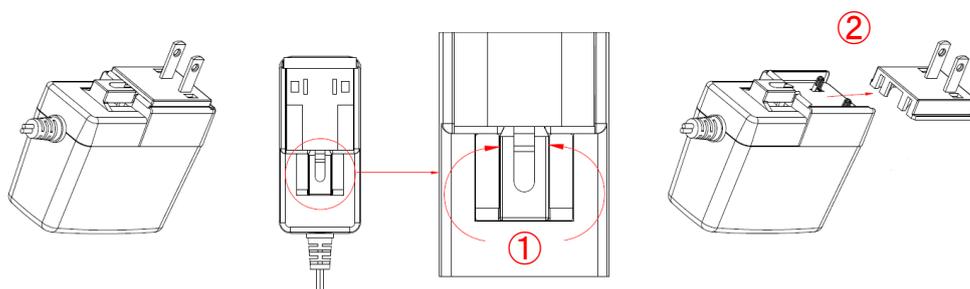
■ AC プラグの取り外しと取り付け手順

ネジ式ロック付き AC アダプタの AC プラグは、使用する国ごとに形状が異なりますので、適した AC プラグをお使いください。

なお、AC プラグのお問い合わせは、弊社営業部または各営業所までお願いします。

取り外し方法：

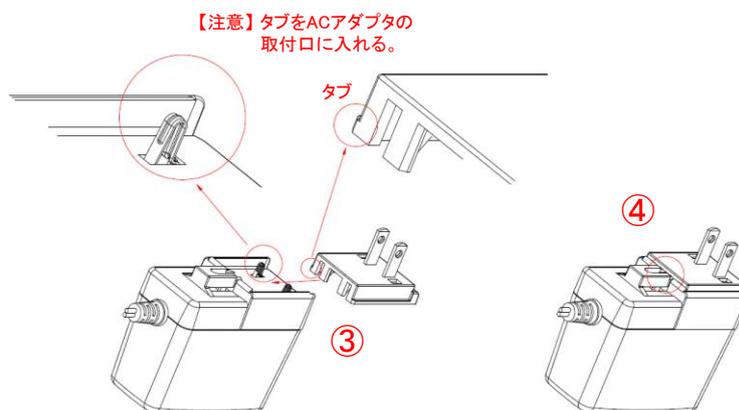
AC アダプタの継手を押しながら (①)、AC プラグを AC アダプタからスライド (②) して取り外します。



[図 6.1] AC プラグの取り外し方法 (図：国内用 AC プラグ)

取り付け方法：

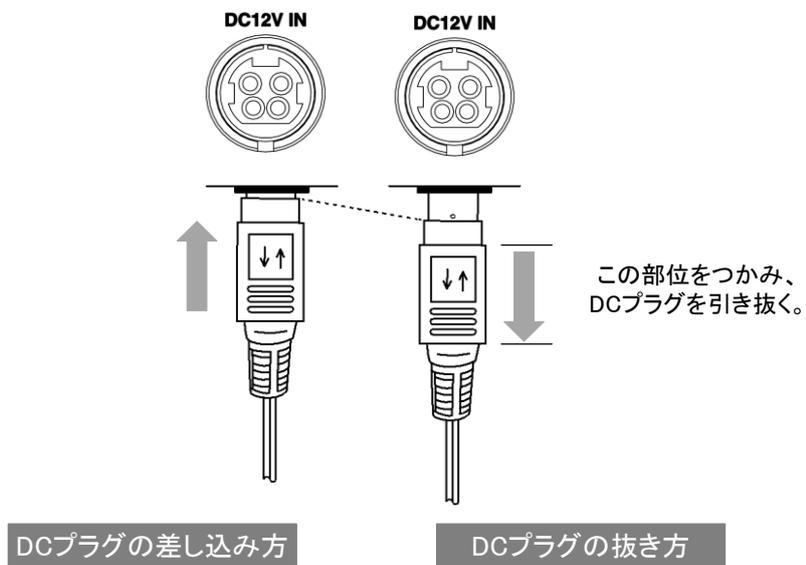
AC プラグを AC アダプタにセットし (③)、“カチッ”と音がするまで差し込みます (④)。



[図 6.2] AC プラグの取り付け方法 (図：国内用 AC プラグ)

■ DC プラグの差し込みと抜き方

DC プラグは、“カチッ”と音がするまで確実に本体の電源コネクタへ差し込んでください。
また、電源コネクタから DC プラグを引き抜くときは、下図に示す部位をつかんでください。



[図 6.3] DC プラグの差し込みと抜き方

7 インストール / アンインストール

本機の設定は専用のアプリケーションで行います。

制御機器にアプリケーションのインストール・アンインストールを行う方法を説明します。

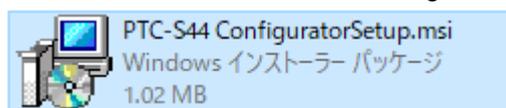
7.1 インストール

インストール前の注意

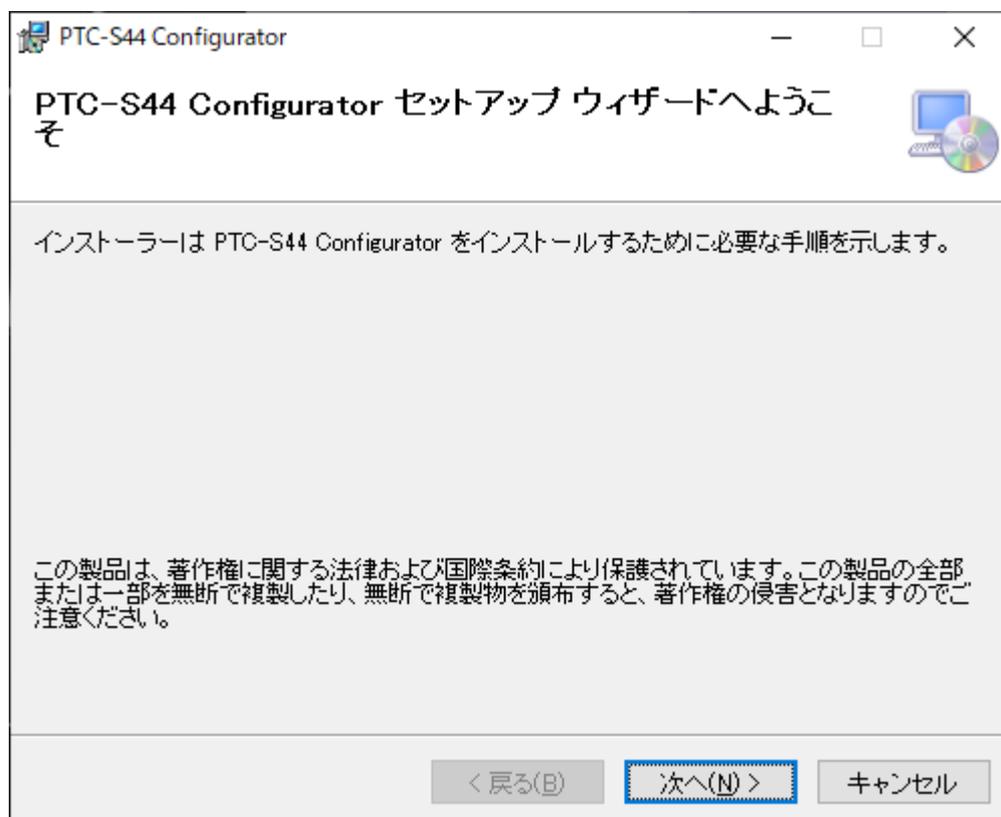
本プログラムを使用するには、.NET Framework 4.6.1 以上が必要になります。お使いのコンピュータに、.NET Framework がインストールされていない場合は、インストール時にネットワーク経由で、.NET Framework をダウンロードしてください。詳しい .NET Framework のインストール方法については、日本マイクロソフト株式会社の .NET Framework 関連のホームページなどをご覧ください。

添付 CD の「設定ツール」フォルダを任意の場所にコピーします。

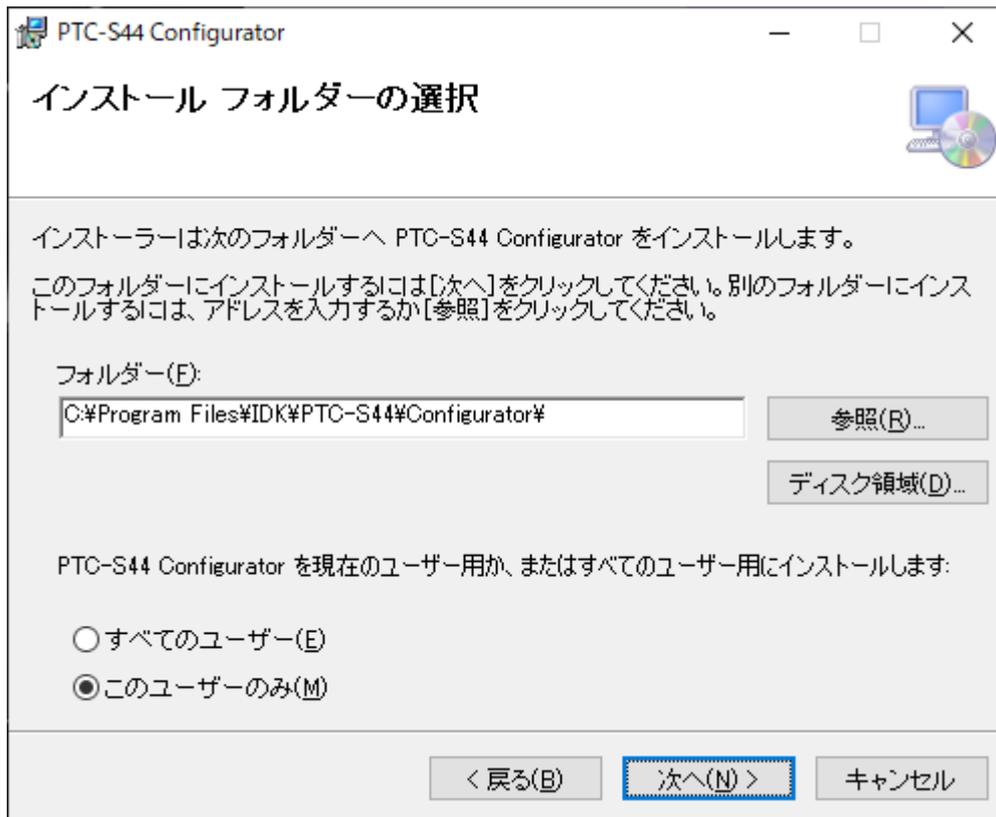
上記フォルダ内の「PTC-S44 ConfiguratorSetup.msi」をダブルクリックで起動します。



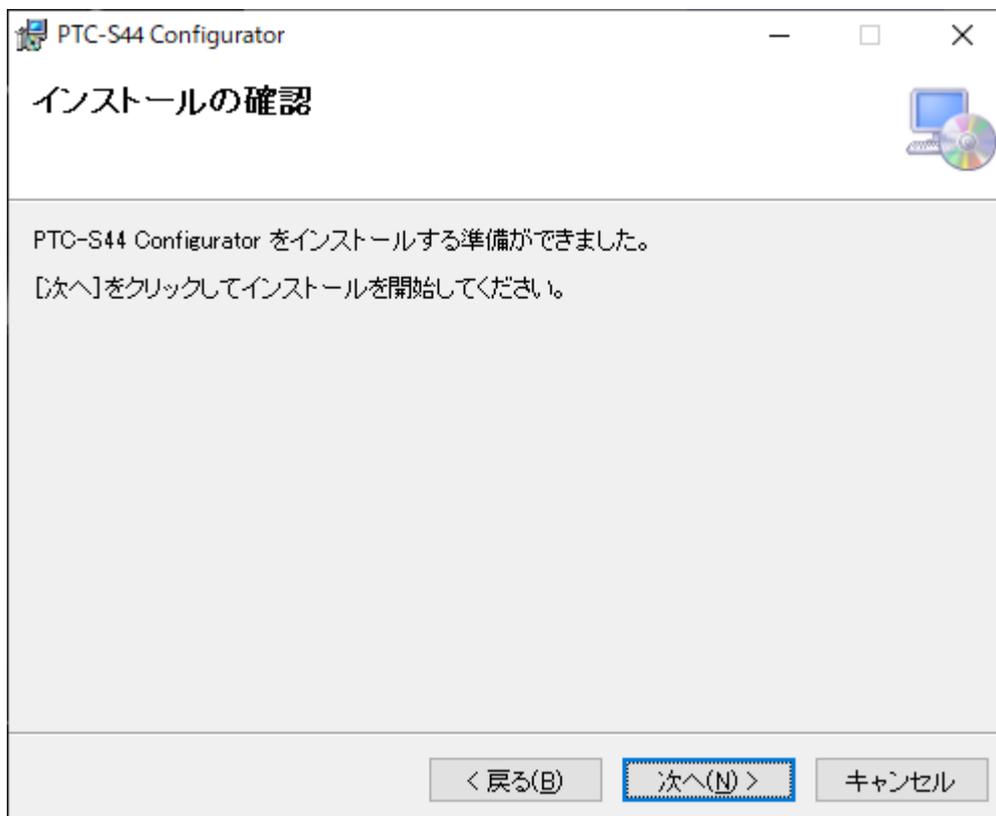
下記画面が表示されるので「次へ」をクリックします。



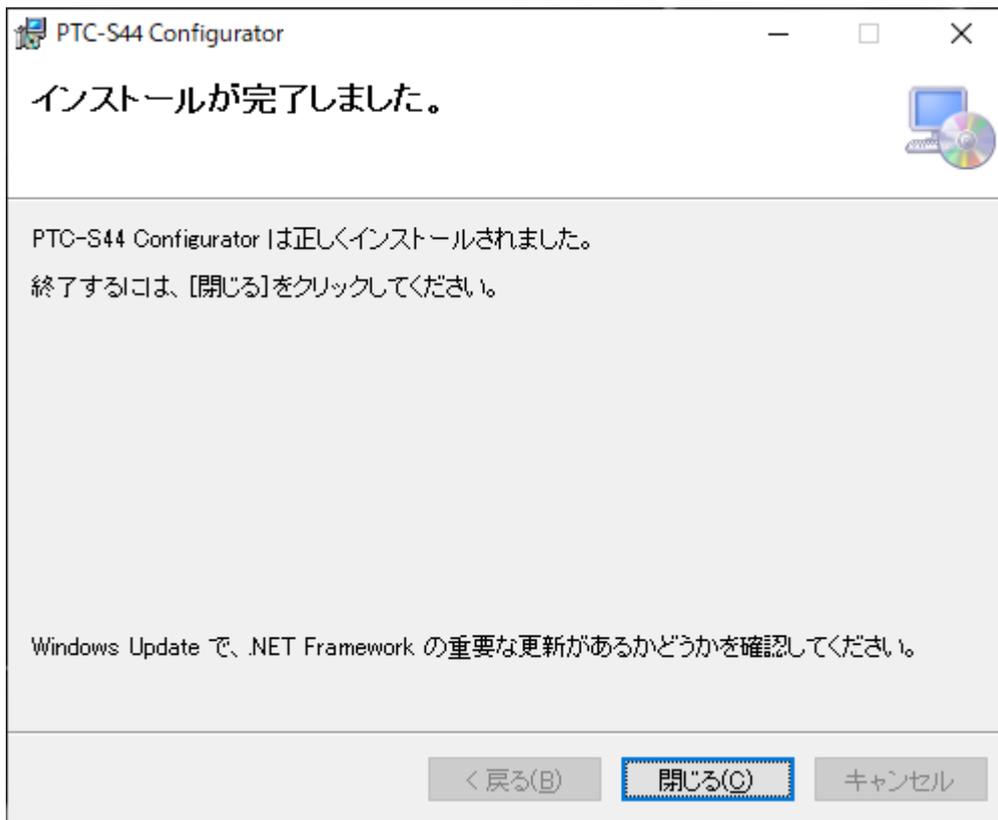
「次へ」をクリックします。



「次へ」をクリックします。



インストール中にダイアログが表示された場合は「はい」を選択してください。
インストールが完了したら「閉じる」をクリックしてください。



これでインストールは完了です。

7.2 アンインストール

Windows の「コントロールパネル」「プログラム」「プログラムと機能」から、「PTC-S44 Configurator」を選択し、右クリックメニューの「アンインストール」、または上部の「アンインストール」ボタンでプログラムをアンインストールしてください。

8 起動方法

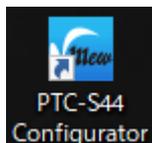
以下の2とおりの起動方法からアプリケーションを起動します。

A) スタートメニューから起動する

「スタート」→「すべてのプログラム」→「IDK」→「PTC-S44 Configurator」の順に選択します。

B) デスクトップのショートカットから起動する

デスクトップ上の「PTC-S44 Configurator」のアイコンをダブルクリックします。



9 基本操作

本設定ツールの基本操作について説明します。

設定ツールをインストールした端末を本機と同じネットワークに接続してください。

9.1 ログイン

起動すると下記の画面が表示されます。

各項目を入力し、OK ボタンを押してください。

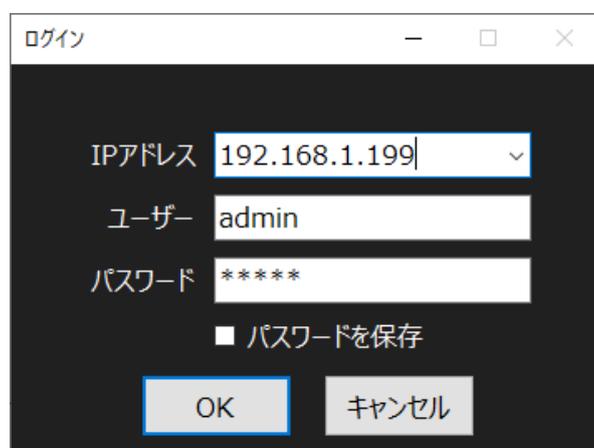
工場出荷時の IP アドレス、ユーザーおよびパスワードは以下になっています。

LAN1 : 192.168.1.199

LAN2 : DHCP (自動取得)

ユーザー : admin

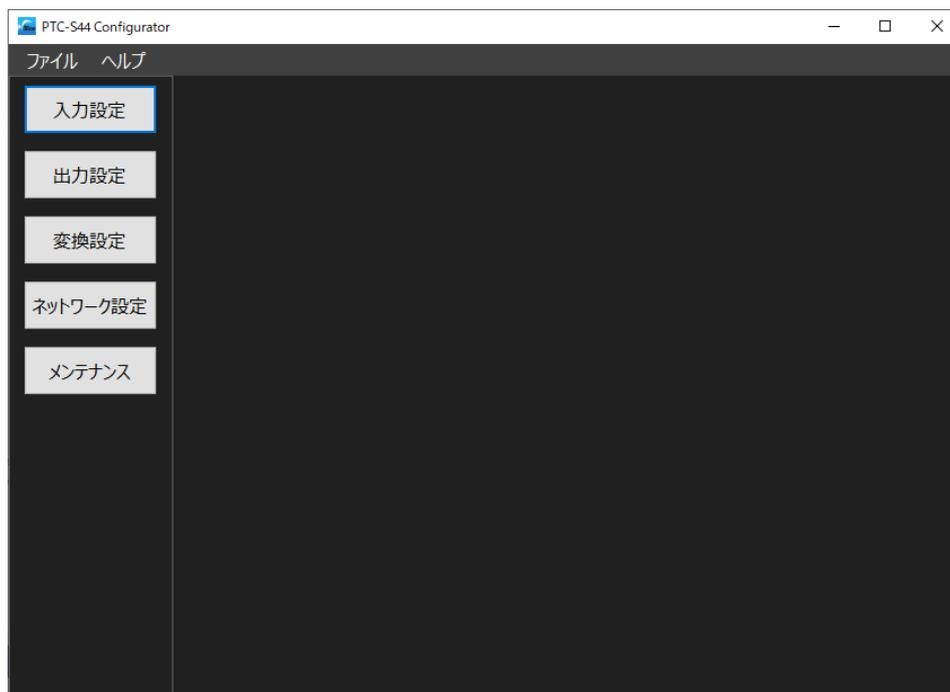
パスワード : 12345



[図 9.1] ログイン画面

9.2 メイン画面

この画面から各種設定画面を表示します。



[図 9.2] メイン画面

[表 9.1] メイン画面の各名称と説明

名称			説明	
メニュー バー	ファイル	設定	読み込	保存した設定を読み込み適用します。 【参照：9.3.1 設定：読み込 (P.21)】
		保存		設定をファイルに保存します。 【参照：9.3.2 設定：保存 (P.21)】
		ログアウト		現在接続中の機器からログアウトします。 【参照：9.3.3 ログアウト (P.22)】
		終了		本設定ツールを終了します。 【参照：9.3.4 終了 (P.22)】
	ヘルプ	バージョン情報		本機のバージョン情報を表示します。 【参照：9.3.5 バージョン情報 (P.23)】
入力設定			入力情報の設定をします。 【参照：9.4 入力設定 (P.24)】	
出力設定			出力情報の設定をします。 【参照：9.5 出力設定 (P.26)】	
変換設定			変換の設定をします。 【参照：9.6 変換設定 (P.28)】	
ネットワーク設定			本機の IP アドレス等、ネットワークの設定をします。 【参照：9.7 ネットワーク設定 (P.30)】	
メンテナンス			本機の初期化や再起動などを行います。 【参照：9.8 メンテナンス (P.32)】	
設定画面表示エリア			各種設定画面が表示されます。	

9.3 メニューバー

9.3.1 設定：読込

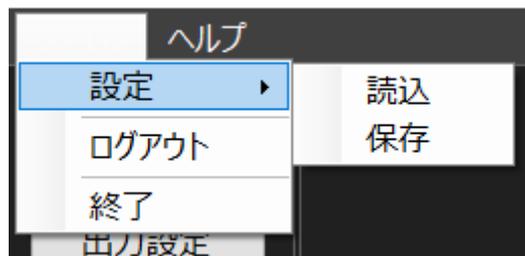
保存した設定ファイルの内容を接続中の機器に適用します。
ファイル選択ダイアログが表示されるので適用する設定ファイルを選択してください。



[図 9.3] 読込

9.3.2 設定：保存

接続中の機器の設定を CSV 形式で保存します。
保存したファイルの名称は変更しないでください。



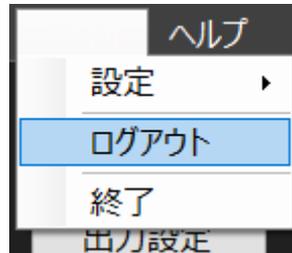
[図 9.4] 保存

9.3.3 ログアウト

接続中の機器からログアウトします。

確認のダイアログが表示されるので、「はい」を選択するとログアウトしログイン画面が表示されます。

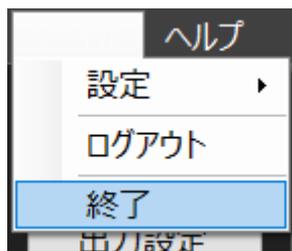
各項目を入力し再度ログインを行ってください。



[図 9.5] ログアウト

9.3.4 終了

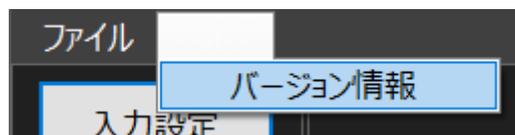
本設定ツールを終了します。



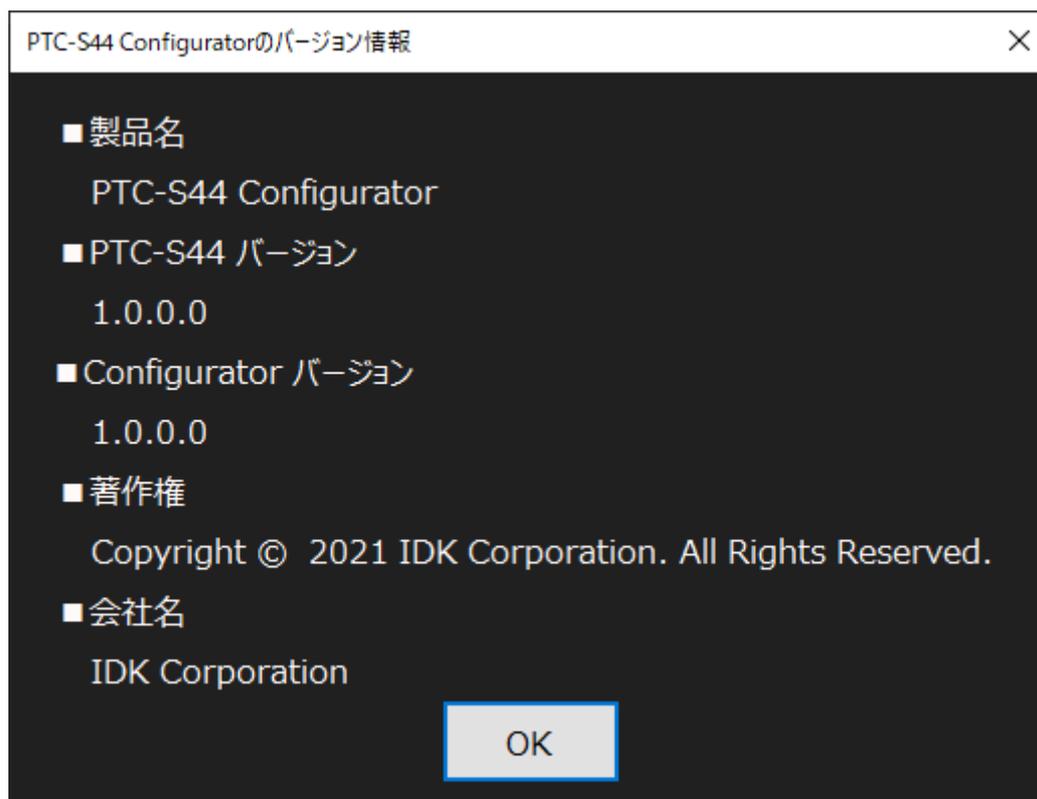
[図 9.6] 終了

9.3.5 バージョン情報

接続中の機器および本設定ツールのバージョン情報を表示します。



[図 9.7] バージョン情報



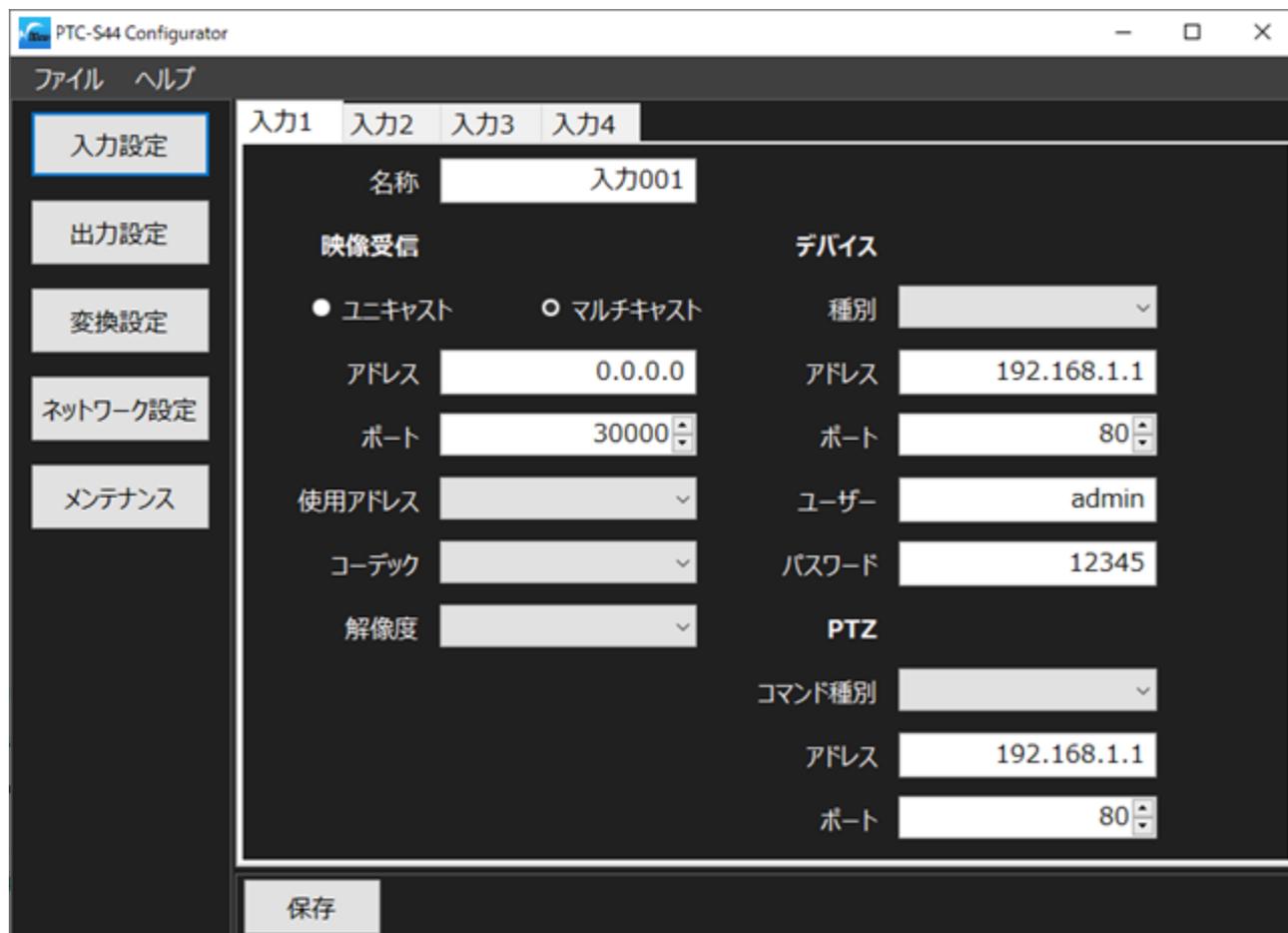
[図 9.8] バージョン情報フォーム

[表 9.2] バージョン情報フォームの各名称と説明

名称	説明
製品名	製品名が表示されます。
PTC-S44 バージョン	本機のバージョンが表示されます。
Configurator バージョン	本設定ツールのバージョンが表示されます。
著作権	本設定ツールの著作権が表示されます。
会社名	会社名が表示されます。
OK	バージョン情報フォームを閉じます。

9.4 入力設定

本機に入力する映像やデバイスの設定を行います。
 「入力設定」ボタンを押し、設定画面を表示します。



[図 9.9] 入力設定画面

[表 9.3] 入力設定画面の各名称と説明

名称	説明
切り替えタブ	設定する入力情報をタブで選択します。
入力情報	各種入力情報を設定します。

[図 9.10] 入力情報

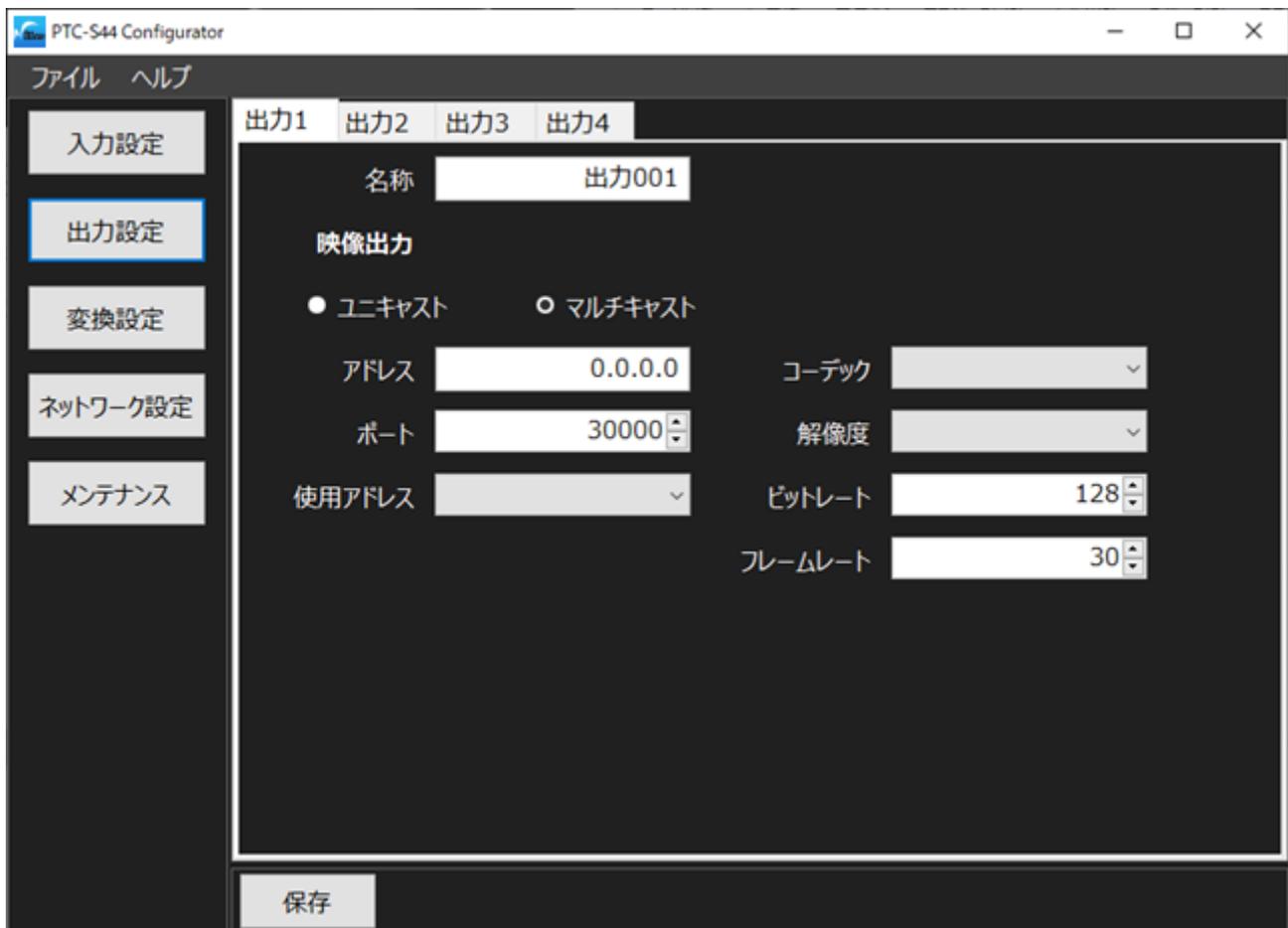
[表 9.4] 入力情報の各名称と説明

名称		説明
切り替えタブ		設定する入力情報を切り替えます。
名称		入力情報の名称を 16 文字以内で入力してください。
映像受信	プロトコル	受信映像のプロトコルを選択します。 ユニキャストもしくはマルチキャストを選択してください。
	アドレス	映像を受信するアドレスを入力します。 ユニキャスト時は入力不要です。マルチキャスト時のみマルチキャストアドレスを入力してください。 他の入力設定と重複しないように設定を行ってください。
	ポート	映像を受信するポート番号を入力します。 他の入力設定と重複しないように設定を行ってください。
	使用アドレス	映像の受信に使用する LAN ポートの IP アドレスをリストから選択します。 リストには本機の LAN1 および LAN2 の IP アドレスが表示されます。
	コーデック	受信映像のコーデックを選択します。
	解像度	受信映像の解像度を選択します。
デバイス	種別	配信制御を行うデバイスの種別を選択します。 配信制御が不要な場合は「なし」を選択してください。
	アドレス	配信制御を行うデバイスの IP アドレスを入力します。
	ポート	配信制御を行うデバイスの制御ポート番号を入力します。
	ユーザー	使用デバイスのログインユーザーを入力します。
	パスワード	使用デバイスのログインパスワードを入力します。
PTZ	コマンド種別	PTZ 制御を行う機器の種別を選択します。
	アドレス	PTZ 制御を行う機器の IP アドレスを入力します。
	ポート	PTZ 制御を行う機器の制御ポート番号を入力します。
保存		入力情報を保存します。

9.5 出力設定

本機から出力する映像の設定を行います。

「出力設定」ボタンを押し、設定画面を表示します。



[図 9.11] 出力設定画面

[表 9.5] 出力設定画面の各名称と説明

名称	説明
切り替えタブ	設定する出力情報をタブで選択します。
出力情報	各種出力情報を設定します。

出力1 出力2 出力3 出力4

名称 出力001

映像出力

ユニキャスト マルチキャスト

アドレス 0.0.0.0 コーデック

ポート 30000 解像度

使用アドレス ビットレート 128

フレームレート 30

保存

[図 9.12] 出力情報

[表 9.6] 出力情報の各名称と説明

名称	説明	
切り替えタブ	設定する出力情報を切り替えます。	
名称	出力情報の名称を 16 文字以内で入力してください。	
映像出力	プロトコル	出力映像のプロトコルを選択します。 ユニキャストもしくはマルチキャストを選択してください。
	アドレス	映像の出力先アドレスを入力します。 他の出力設定と重複しないように設定を行ってください。
	ポート	映像の出力先ポート番号を入力します。 他の出力設定と重複しないように設定を行ってください。
	使用アドレス	映像出力に使用する LAN ポートの IP アドレスをリストから選択します。 リストには本機の LAN1 および LAN2 の IP アドレスが表示されます。
	コーデック	出力映像のコーデックを選択します。
	解像度	出力映像の解像度を選択します。(注 1)
	ビットレート	出力映像のビットレートを 128 ~ 12000 の範囲で入力します。
フレームレート	出力映像のフレームレートを 5 ~ 30 の範囲で入力します。	
保存	出力情報を保存します。	

(注 1) 入力解像度 1280x720 のコーデックを出力解像度変更せずにコーデック変換することはできません。

9.6 変換設定

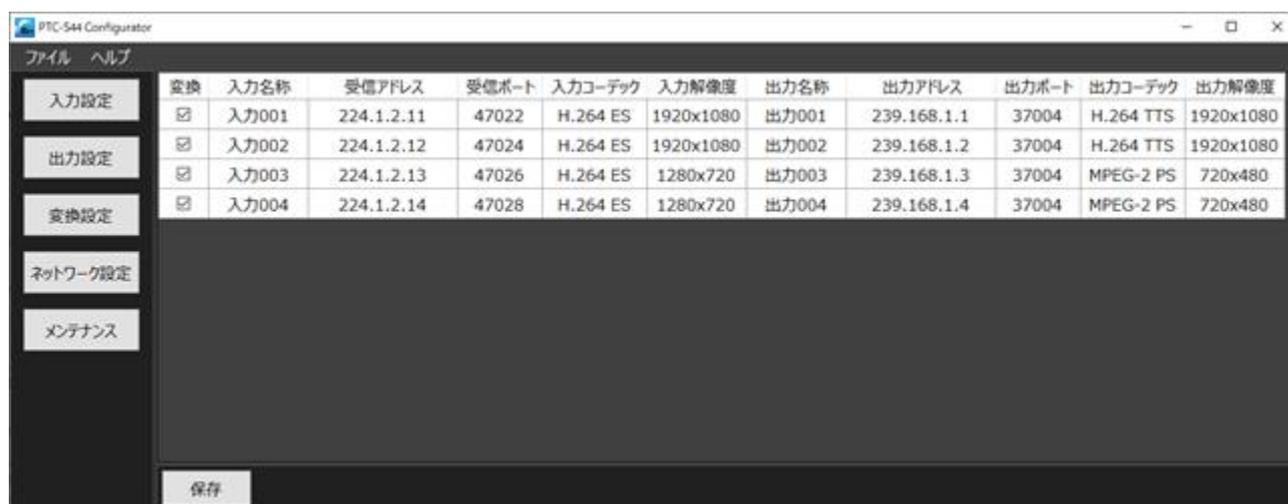
変換の ON/OFF 設定を行います。

「変換設定」ボタンを押し、設定画面を表示します。

上から入力 1⇒出力 1、入力 2⇒出力 2、入力 3⇒出力 3、入力 4⇒出力 4 の組み合わせがリストに表示されます。

また、入力コーデックが「MPEG-2 PS」となっている場合は変換可能数に制限が発生します。

その際「保存」ボタン押下時に警告が表示されます。変換数が最大 2 となるように変更してください。



[図 9.13] 変換設定画面

[表 9.7] 変換設定画面の各名称と説明

名称	説明
変換設定画面	設定している入力・出力情報を表示します。 また、変換を行うかどうかの設定を行います。

変換	入力名称	受信アドレス	受信ポート	入力コーデック	入力解像度	出力名称	出力アドレス	出力ポート	出力コーデック	出力解像度
<input checked="" type="checkbox"/>	入力001	224.1.2.11	47022	H.264 ES	1920x1080	出力001	239.168.1.1	37004	H.264 TTS	1920x1080
<input checked="" type="checkbox"/>	入力002	224.1.2.12	47024	H.264 ES	1920x1080	出力002	239.168.1.2	37004	H.264 TTS	1920x1080
<input checked="" type="checkbox"/>	入力003	224.1.2.13	47026	H.264 ES	1280x720	出力003	239.168.1.3	37004	MPEG-2 PS	720x480
<input checked="" type="checkbox"/>	入力004	224.1.2.14	47028	H.264 ES	1280x720	出力004	239.168.1.4	37004	MPEG-2 PS	720x480

[図 9.14] 変換リスト

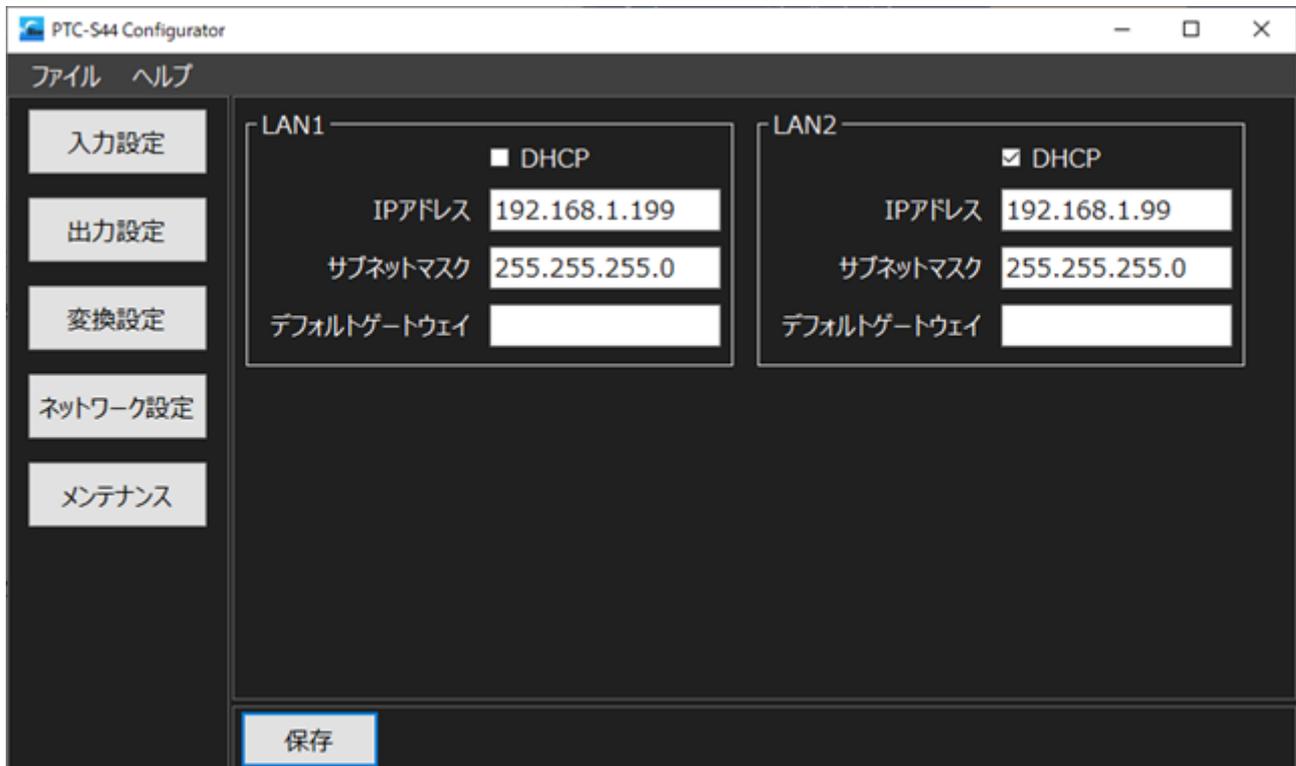
[表 9.8] 変換リストの各名称と説明

名称	説明
変換	チェックを入れた場合、該当の変換を開始します。 チェックを外した場合は変換を停止します。
入力名称	入力設定の「名称」が表示されます。
受信アドレス	入力設定の「映像受信」の「アドレス」が表示されます。
受信ポート	入力設定の「映像受信」の「ポート」が表示されます。
入力コーデック	入力設定の「コーデック」が表示されます。
入力解像度	入力設定の「解像度」が表示されます。
出力アドレス	出力設定の「アドレス」が表示されます。
出力ポート	出力設定の「ポート」が表示されます。
出力コーデック	出力設定の「コーデック」が表示されます。
出力解像度	出力設定の「解像度」が表示されます。
保存	変換設定を保存します。 設定保存後に「変換」のチェックに応じて変換の開始・停止を行います。 また、入力コーデックが「MPEG-2 PS」となる項目がある場合に最大変換数を超えている際は警告が表示されます。

9.7 ネットワーク設定

本機の IP アドレス等の設定を行います。

「ネットワーク設定」ボタンを押し、設定画面を表示します。



[図 9.15] ネットワーク設定画面

[表 9.9] ネットワーク設定画面の各名称と説明

名称	説明
ネットワーク情報	ネットワーク情報を設定します。

The screenshot shows a network configuration window with two sections: LAN1 and LAN2. Each section has a DHCP checkbox, an IP address field, a subnet mask field, and a default gateway field. LAN1's DHCP is unchecked, while LAN2's is checked. The IP addresses are 192.168.1.199 and 192.168.1.99 respectively. Subnet masks are both 255.255.255.0. A '保存' (Save) button is located at the bottom left of the window.

[図 9.16] ネットワーク情報

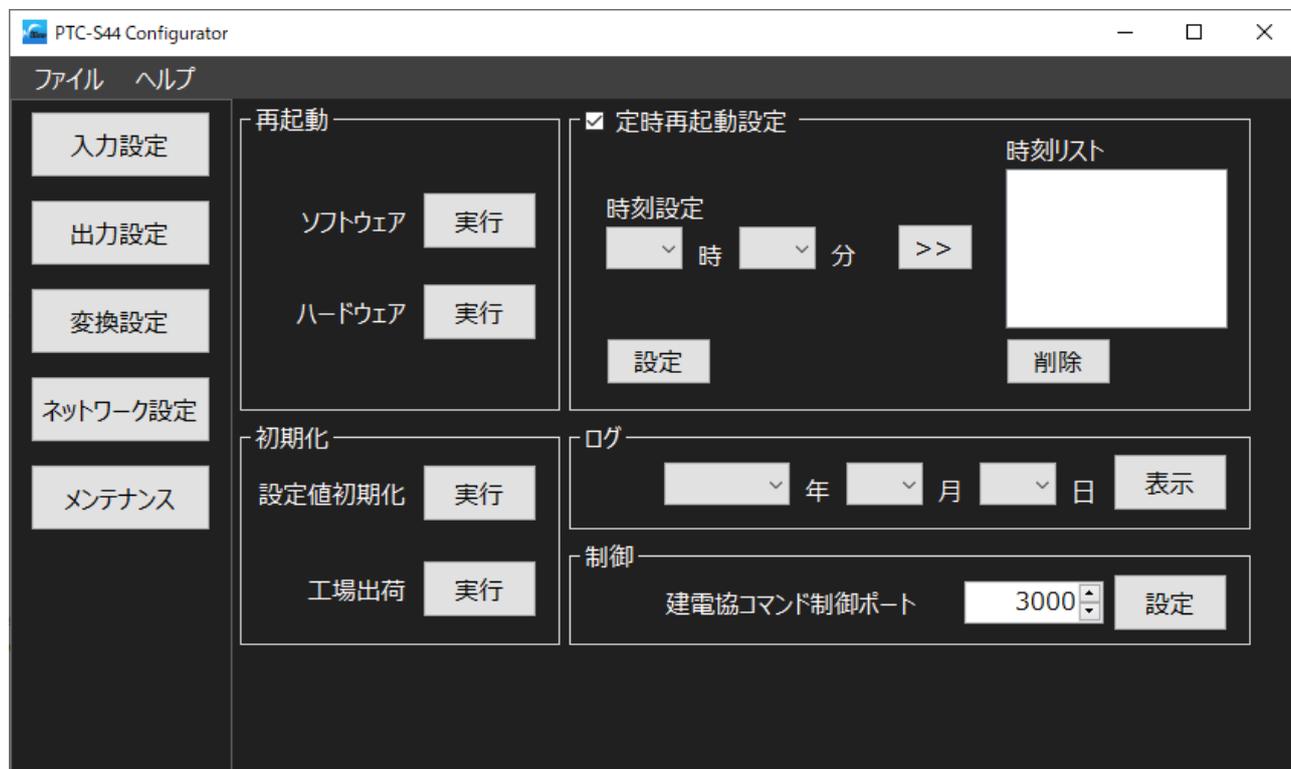
[表 9.10] ネットワーク情報の各名称と説明

名称		説明
LAN1	DHCP	チェックを ON にすることで LAN1 を DHCP (自動取得) に設定します。
	IP アドレス	LAN1 の IP アドレスを入力します。
	サブネットマスク	LAN1 のサブネットマスクを入力します。
	デフォルト ゲートウェイ	LAN1 のデフォルトゲートウェイを入力します。
LAN2	DHCP	チェックを ON にすることで LAN2 を DHCP (自動取得) に設定します。
	IP アドレス	LAN2 の IP アドレスを入力します。
	サブネットマスク	LAN2 のサブネットマスクを入力します。
	デフォルト ゲートウェイ	LAN2 のデフォルトゲートウェイを入力します。
保存		LAN1 および LAN2 の設定を保存します。保存後は本機の再起動を行ってください。

9.8 メンテナンス

本機の初期化や再起動を行います。

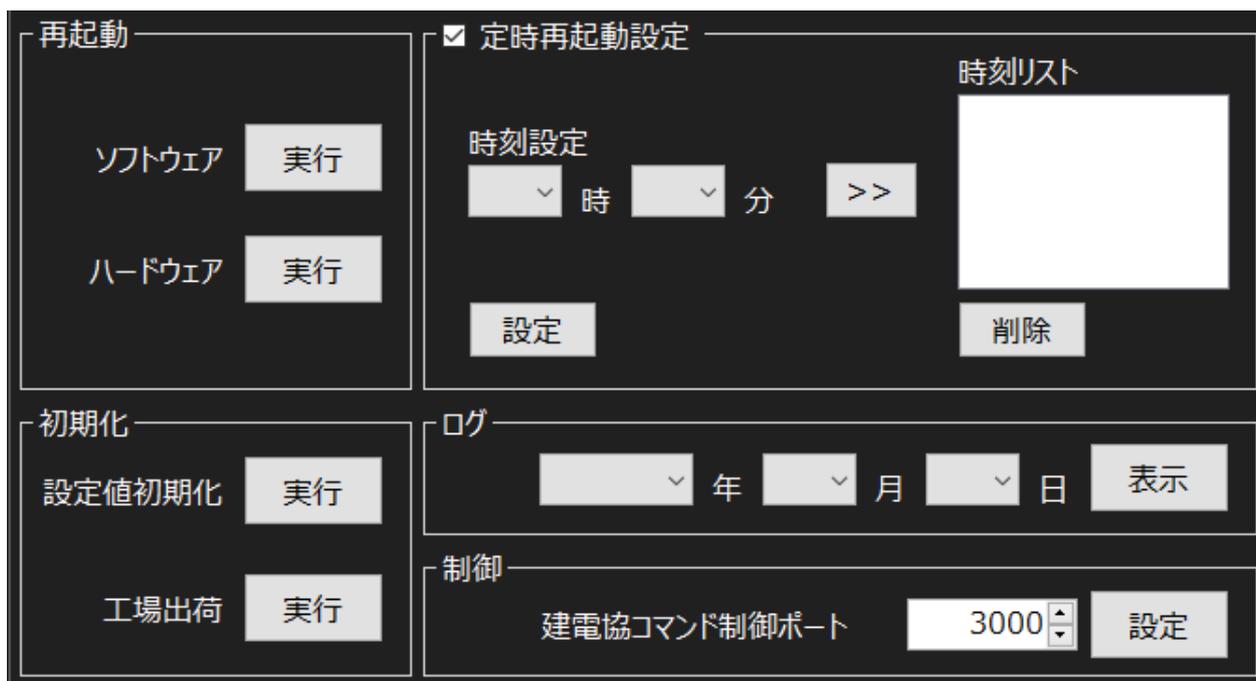
「メンテナンス」ボタンを押し、設定画面を表示します。



[図 9.17] メンテナンス画面

[表 9.11] メンテナンス画面の各名称と説明

名称	説明
メンテナンス	各種操作を行います。



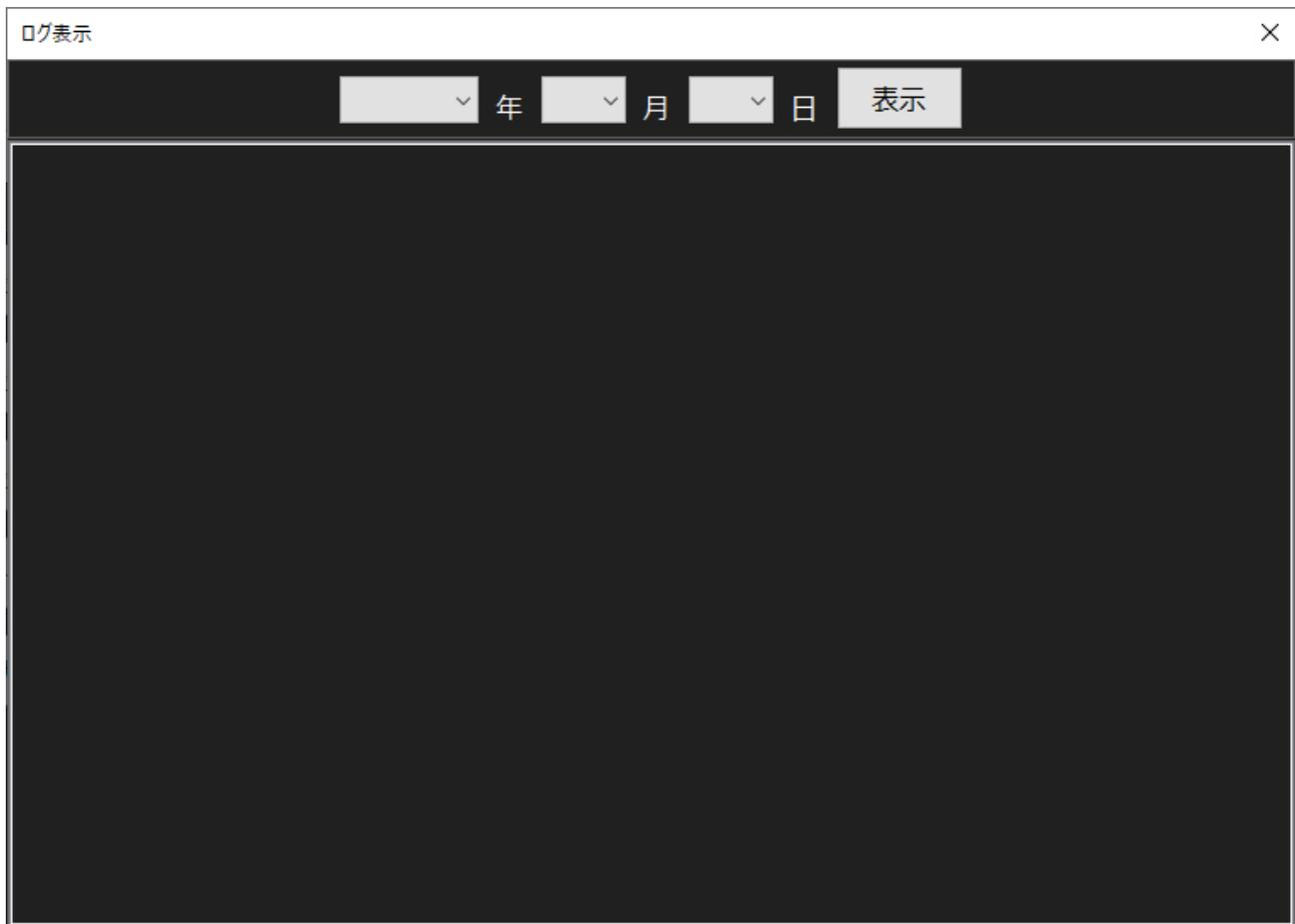
[図 9.18] メンテナンス

[表 9.12] メンテナンスの各名称と説明

名称	説明	
再起動	ソフトウェア	本機のソフトウェアの再起動を行います。
	ハードウェア	本機の再起動を行います。
定期再起動	定期再起動設定	チェックを ON にすることで定期再起動の機能を有効にします。また、時刻の設定が可能となります。
	時刻設定	定期再起動を行う時刻を選択します。
	>>	選択した時刻を時刻リストに追加します。
	時刻リスト	定期再起動を行う時刻が表示されます。
	設定	定期再起動設定を保存します。
	削除	時刻リストで選択した時刻をリストから削除します。
	初期化	設定値初期化
工場出荷		本機の IP アドレスを含めた設定値を初期化します。本機能実行後は本機を再起動してください。
ログ	年月日	ログを表示したい年月日を選択します。
	表示	選択した年月日の日付のログを表示します。新たにログ表示画面が起動します。
制御	建電協コマンド制御ポート	本機の建電協コマンド受信用ポートを設定します。1025 ~ 65535 の範囲で入力してください。設定後は本機のソフトウェアの再起動を行ってください。

9.9 ログ

本機のログを表示します。



[図 9.19] メンテナンス画面

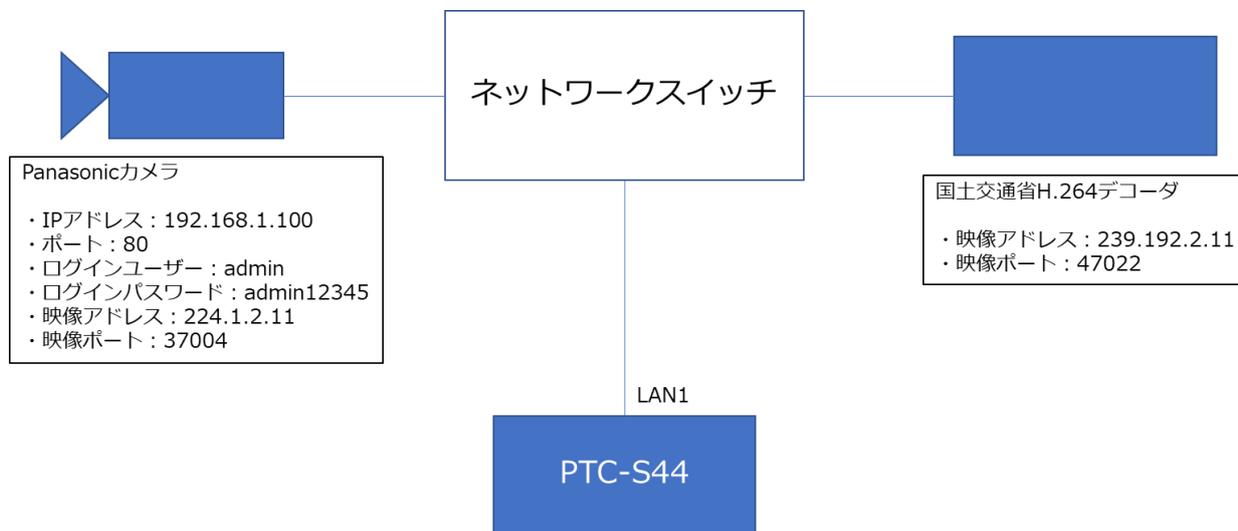
[表 9.13] メンテナンス画面の各名称と説明

名称	説明
年月日	ログを表示した年月日を選択します。
表示	選択した年月日のログをログ表示エリアに表示します。
ログ表示エリア	ログが表示されます。

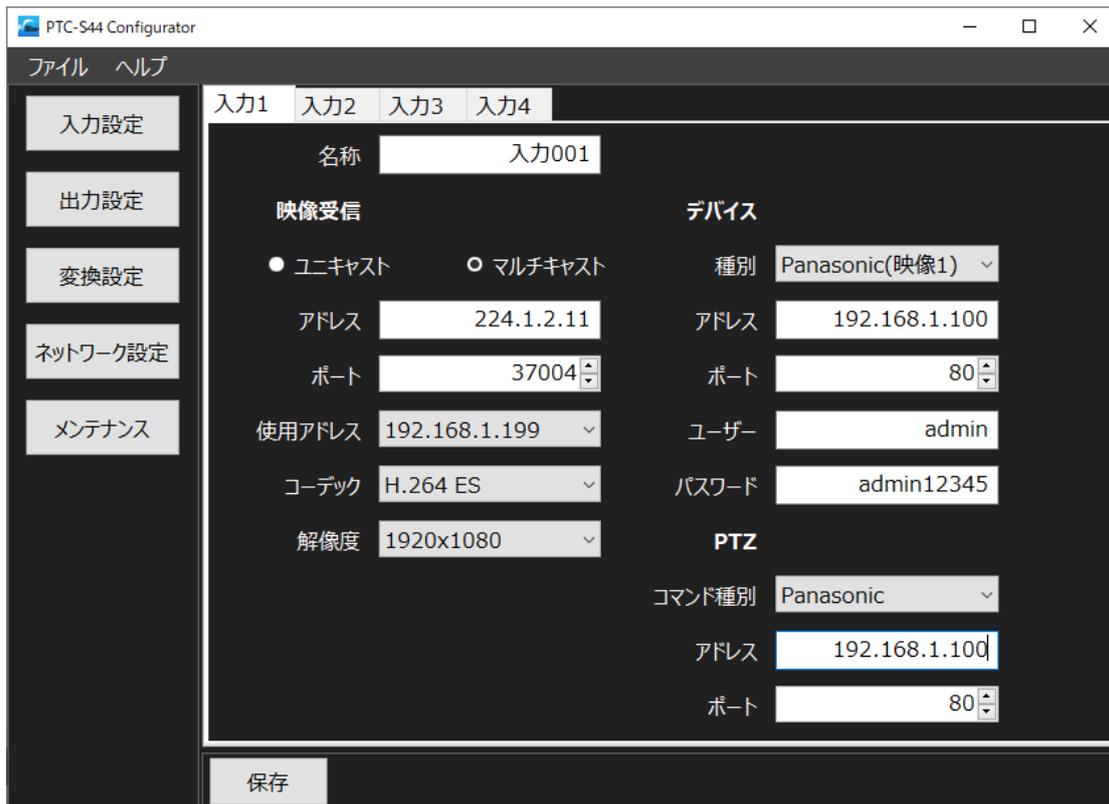
9.10 設定例

本機を使用する際の設定例です。

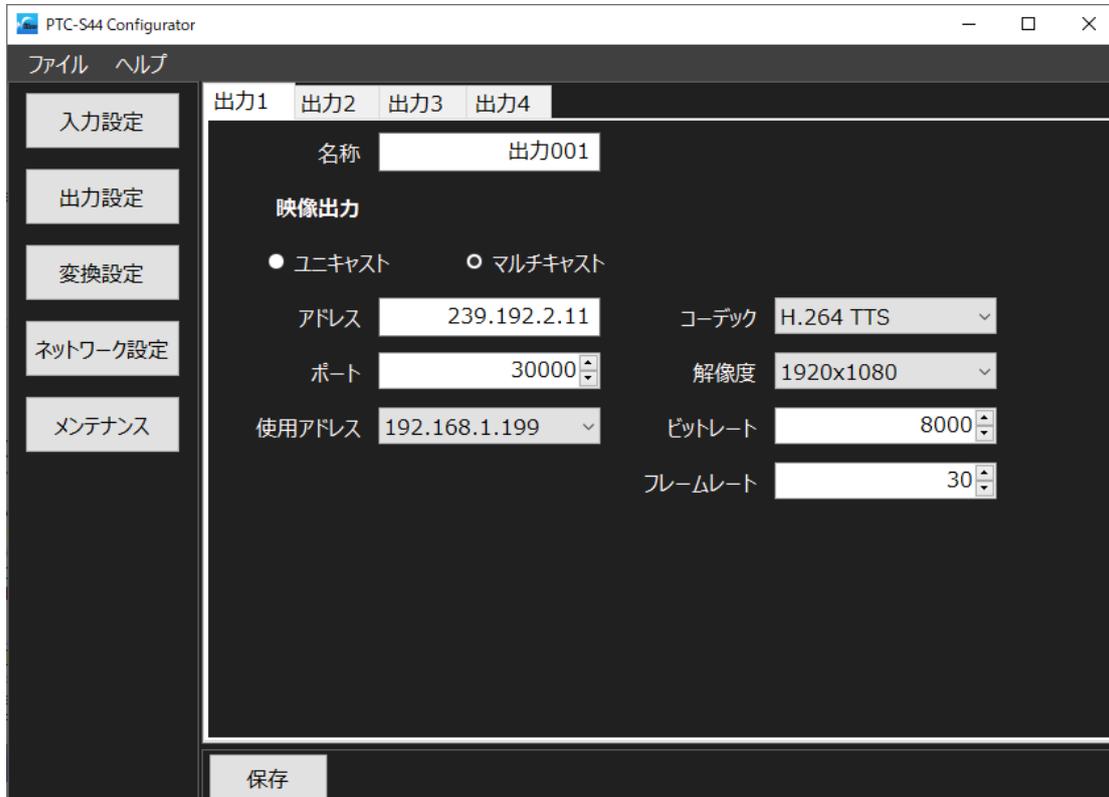
下記を参考に、実際の環境に合わせて設定を行ってください。



[図 9.20] 構成例



[図 9.21] 構成例：入力設定画面



[図 9.22] 構成例：出力設定画面

10 製品仕様

項目		内容	
入出力信号		最大 4 系統 (注 1)	
映像	受信・配信方式	ユニキャスト / マルチキャスト	
	入力	符号化方式	MPEG-2 MP (Main Profile) H.264 BP (Baseline Profile) / MP (Main Profile) / HP (High Profile)
		最大符号化レート	12 Mbps
		最大フレームレート	30 fps
		多重化方式	MPEG-2 システム ES (Elementary Stream) / MPEG-2 システム PS (Program Stream) MPEG-2 システム TS (Transport Stream) / MPEG-2 システム TTS (Timestamped Transport Stream)
		対応解像度	最大 1920x1080 (注 2)
	出力	符号化方式	MPEG-2 MP (Main Profile) H.264 BP (Baseline Profile) / MP (Main Profile) / HP (High Profile)
		最大符号化レート	12 Mbps
		最大フレームレート	30 fps (注 3)
		多重化方式	MPEG-2 システム PS (Program Stream) MPEG-2 システム TS (Transport Stream) / MPEG-2 システム TTS (Timestamped Transport Stream)
対応解像度		最大 1920x1080 (注 2)	
PTZ コマンド	入力	建電協コマンド	
	出力	メーカー各社ネットワークカメラの制御コマンド	
対応プロトコル (注 4)		IP、ICMP、IGMPv3、TCP、UDP、HTTP、RTSP、RTP、RTCP	
コネクタ	LAN	2 系統 RJ-45 コネクタ 100Base-TX / 1000Base-TX (Auto Negotiation)	
	HDMI / DVI	2 系統 HDMI Type A (19 ピン)・メス (注 5)	
	RS-232C	1 系統 D-sub 9 ピンコネクタ・オス (注 5)	
	USB 3.0	4 系統 USB Type-A コネクタ (注 5)	
その他仕様	AC アダプタ	入力 : AC ~ 100 V - 240 V ± 10 %、50 Hz / 60 Hz ± 3 Hz 出力 : DC 12 V 3A (専用 AC アダプタ付属)	
	消費電力	約 20 W	
	外形寸法	210 (W) × 76 (H) × 150 (D) mm (EIA ハーフラック 2U、突起物含まず)	
	質量	2.0 kg	
	温度	使用範囲 : 0 °C ~ 40 °C 保存範囲 : -20 °C ~ 75 °C	
	湿度	使用範囲 : 0 % ~ 90 % (ただし結露なきこと) 保存範囲 : 0 % ~ 90 % (ただし結露なきこと)	
	付属品	ロック付き DIN プラグ AC アダプタ (1.2m)	

(注 1) MPEG-2 入力時は 2 系統となります。

(注 2) 入力解像度 1280x720 の映像を出力解像度変更せずにコーデック変換することはできません。

(注 3) 国土交通省仕様では 29.97 となります。

(注 4) ネットワークカメラや IP エンコーダなどで使用可能なプロトコルです。

(注 5) メンテナンス用コネクタです。

11 正常に動作しないときは

本機が正常に動作しないときは、まず以下の点をご確認ください。また、本機に接続されている機器に原因がある場合もありますので、そちらの取扱説明書も参照しながらご確認ください。

- ・ 本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・ 本機に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・ 接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・ 機器の近くにノイズの原因となるようなものはありますか？

以上の内容を確認しても問題が解決しない場合は、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。なお、故障の連絡をするときは、以下の点も事前にテストしてください。

No.	確認内容	結果
1	すべてのコネクタで同じ現象がでますか？	はい / いいえ
2	電源ランプは点灯していますか？	はい / いいえ
3	アクセスランプは点灯していますか？	はい / いいえ
4	ネットワークの帯域は確保されていますか？	はい / いいえ
5	全ての映像で現象が再現されますか？	はい / いいえ
6	特定のカメラ・エンコーダ・デコーダでのみ再現されますか？	はい / いいえ

PTC-S44 取扱説明書

<ユーザーズガイド>

Ver.1.1.0

発行日 2022年10月03日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第2ビル5階
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル3階
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

Eメールアドレス info@idk.co.jp ホームページ <http://www.idk.co.jp/>